

# 1 THE IMACLI TIMES

vol.20  
2024.1.3

医療法人 今村クリニック 院内報

## 【働き方改革に向けた取り組み】

2024年4月から医師の働き方改革が始まり、他院からの外勤医師の派遣が厳しくなり、当直医の勤務がなくなります。夜間は病棟看護師が初期対応を行い、必要時はオンコールで常勤医師に連絡を取る体制(下記、厚生労働省規定)で対応させていただきます。

- ① 入院患者の病状が急変した場合に、当該病院の看護師等があらかじめ定められた医師へ常時連絡をする体制が確保されていること。
- ② 入院患者の病状が急変した場合に、当該医師が当該病院からの連絡を常時受けられること。
- ③ 当該医師が速やかに当該病院に駆けつけられる場所にいること。

→当該医師が連絡を受けてから、速やかに当該病院へ駆けつけられること。万が一、速やかに駆けつけられない場合においても、少なくとも速やかに電話等で看護師等に診療に関する適切な指示を出せること。

また、終末期医療(急変時対応を希望されない患者様)を行なっている方が心肺停止状態になった際は、夜間当直帯のお看取りは行わず、翌朝の日勤帯にお看取りさせていただきます。ご協力とご理解の程よろしく願いいたします。



## 【認知症、認知機能低下について】

### ○認知症の概念

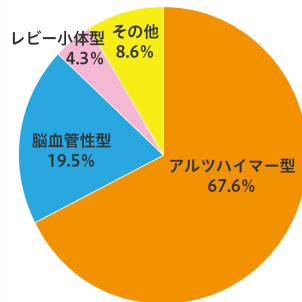
・脳の病気や障害など様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活全般に支障が出てくる状態。

・**アルツハイマー型認知症**：認知症の中で最も多い。もの忘れで発症することが多く、ゆっくりと進行する。早期から病識が希薄であることが多い

・**血管性認知症**：脳梗塞や脳出血などの脳血管障害によるもの。そのため、手足の麻痺や言語障害などの神経学的所見を伴うこともある。障害された脳の部位によって症状が異なるため、一部の認知機能は保たれ、「まだら様」になるのが特徴。ゆっくり進行することもあれば、階段状に急速に進む

・**レヴィー小体型認知症**：幻視(現実には見えないものが見える)やパーキンソン症状(手足が震えたり歩幅が小刻みになって転びやすくなる)が特徴

・**前頭側頭型認知症**：スムーズに言葉が出てこない・言い間違いが多い、感情の抑制がきかなくなる、社会のルールを守れなくなるといった症状



## 【転倒や打撲等の受傷分の初期対応】

物に当たったり、転倒した時など、意識障害や血圧低下などのバイタルサインに異常がない時は、まずは圧迫(COMPRESSION)をしましょう。出血している際も圧迫止血が一番です。圧迫を行いながら、受傷部を冷やし(ICE)て、受傷部がうっ血しないように挙上(ELEVATION)し、安静(REST)にしてください。RICE(お米)のゴロ併せで覚えて下さい。 ※痛みが改善しない場合や、受傷部の腫れが増大する場合は、経過観察せず、必ず整形外科に受診して下さい。